

10月定例教育委員会 会議録

1、開催日時 平成28年10月28日（金）午後2時30分から午後4時00分

2、開催場所 市役所2階第一会議室

3、出席委員の氏名

教育長 梶原 清

職務代理者 小林 重雄

委員 関口 稔夫、小林 孝次、川村 直廣、赤澤 敬子

委員以外で出席した職員

教育委員会教育次長、学校教育課長、学校教育課長補佐、生涯学習課長補佐、

4、教育長開会宣言

5、会期の決定

6、今回会議録署名委員

川村 直廣委員、赤澤 敬子委員が指名される。

7、前回の会議録の承認

職員が9月定例会会議録を朗読し承認される。

8、教育長報告

平成28年9月27日から平成28年10月27日までの教育長活動が報告された。

学校教育課長より、指定校変更16件、区域外就学変更6件、について資料に基づき説明を行い、申請事由が適正であることから承認・承諾を行うとともに、他市教育委員会との区域外就学の協議を行った事務処理について報告がなされた。

9、議 事

議第9号 平成29年度 教育予算方針（案）について

[説明] 学校教育課長

本日、この後、市長との総合教育会議が開催されるが、その中の議題として、「平成29年度の教育予算方針について」がある。この教育委員会議で内容を確認・承認していただき、総合教育会議の中で教育長から説明をお願いしたい。

教育予算方針では、教育振興基本計画の二つの基本目標に基づき、重点的に取り組む事業をそれぞれ位置づけて作成した旨の報告があり、その内容について説明がなされた。

1 生きる力を育む学校教育の推進（学校教育の充実、家庭・地域・学校の連携）

(1) 市担教員、教員補助員の配置によるきめ細やかな学習指導の推進

小林重雄委員

市担教員、教員補助員の配置について、複式学級が今後増えてくる中で、市財政当局との協議では、予算措置が厳しくなってくると思う。教育委員会としては曖昧なやり方では、税金の無駄遣いということを指摘されてしまうので議論が必要だと思う。

学校教育課長

市担教員の配置は、平成25年度からパイロット的な事業としてスタートし、当初は1クラスの人数が多い学校で少人数の授業が出来るようにと、谷一小、禾一小、都留二中へ2名ずつ6名を配置した。

その翌年からは、東桂小、都留一中、東桂中へ1名ずつ追加し、計9名で行ってきたが、今年度は、旭小の複式解消の為に1名を旭小へ配置した。

10名雇用することは、財政的に厳しいことから、9名の内から1名を旭小へ配置するしかない状況であった。今後、旭小において複式学級が2つになったり、附属小が同時に複式学級になると、そこまでの市担教員を雇用することは出来ない上に、本来の目的である学力向上とは掛け離れてしまうので、今後、配置については協議が必要と考えている。

来年度は、市担教員を配置して5年目となるので、配置している学校から報告書を上げていただく中で、十分に成果を検証し、平成30年度以降も有効に活用していければと考えている。

(3) 英語特区及び外国語指導者招致事業の推進

小林重雄委員

英語特区を行っている附属小では、区域内の児童が谷一小へ流出してしまう問題がある。地域の方々に協力いただき、解決していく方向に向けて、知恵を出していかなければならないと思う。

学校教育課長

英語特区では、既に各学年のカリキュラムが完成し、現在、そのカリキュラムに合わせ移行中である。特区になり、まだ2年目なので結果が中々見えてこない状態である。最終的に6年後には、英検4級又は5級が取れるような目標も持って行っているので、その部分が見えてくれば、もう少しアピールも出来ると思うが、今のところ結果が見えにくいところもある。

関口稔夫委員

附属小が英語特区になったことで、児童が増えたという結果はあるのか？

学校教育課長

来年度に1名、また、これまでに3名が英語特区を理由に入学している。

赤澤敬子委員

就学時前に、親子に英語の授業を見せるのも一つの方法ではないか？

小林孝次委員

附属小での英語の授業風景を、CATVなどを使って放送したらどうか？活字より映像の方がわかりやすいと思うが？

梶原教育長

区域内にある権現原団地などの保護者に対し、PRしていかなければならないと感じている。今後の検討課題である。

2 地域の教育力を高める生涯学習の推進

(生涯学習の推進、スポーツの振興、文化・芸術の振興)

(2) 各種スポーツ教室等の充実

教育次長

来年度は、健康ジムの建設に着手する予定である。今年度設計を行い、3月の補正予算で建設費を計上し、平成29年度に完成予定としている。その間、運営方法を協議しながら、並行して準備を進めていく。具体的には、ふるさと会館の1階を改修する。1階は現在、観光振興公社が物品の販売をしているが、そこを撤去し、空いたスペースに健康ジムを建設する。

また、今年度が第1回目の大会となるロードレース大会については、参加者を募集したところ、1,200名程の申し込みがあった。今後、毎年行っていくという事で掲載している。

(3) 学び・まちづくりの交流拠点の充実

小林重雄委員

まちづくり交流センターにて行われている、公民館学級、各種教室では、いろいろな活動を行っている一方で、今年の鶴寿大学のメニューなどを見るとマンネリ化しているように思えるので、斬新なメニューを提供できないか検討してほしい。高齢化社会を迎えて女性の集いの場などを作ることも必要ではないか？

教育次長

確かにマンネリ化しているという話しは伺っているので、今後検討していきたい。

(4) 老朽施設の改修

小林重雄委員

各施設を改修するには、莫大な費用がかかる、使用料、利用料を減免している制度を受益者負担の観点から見直しを行ったらどうか？

教育次長

有料にすると、現在減免となっている団体から、いろいろな意見が出てくると思うが、検討はしていく。

以上の発言あり。

梶原教育長が意見を求め協議したところ、原案のとおり承認された。

【原案のとおり決定】

議第10号 平成29年度 採用・昇任 管理職及び主幹教諭候補者の推薦について

議事に入る前に、梶原教育長より議第10号については、人事に関する案件であることから非公開としたい旨の発言がなされ、承認される。

【原案のとおり決定】

10、その他

[説明] 教育次長

(1) 生涯学習課関係イベント等について

[説明] 学校教育課長

(1) 都留市教育委員会と警察との相互連携に関する協定書について

(2) 親善音楽会開催について

(3) 教育委員の研修会等について

(4) 都留市総合教育会議について

【 了 知 】

11、教育長閉会宣言